



特定非営利活動法人 **アイユーゴー通信 第 25 号**

〒590-0432 大阪府泉南郡熊取町山の手台 1-22-10

TEL / FAX: 072-452-5680

e-mail : snittaskmj0715@yahoo.co.jp

homepage : (2016 年 9 月現在改定中)

目 次

- 1) 平成 27(2015)年度 事業活動
- 2) 国内活動報告 総会・理事会
- 3) 平成 27(2015)年度 収支決算報告
- 4) 平成 28(2016)年度 事業計画
- 5) 後記



アイユーゴーの活動 理事長 新田幸夫



アイユーゴーの活動にご理解とご支援をいただき感謝いたします。2016 年度の総会を 6 月 5 日に京都府国際センターにて開催しました。2015 年度事業報告・収支決算報告、2016 年度事業計画・予算が審議され、承認されました。現在、新たな活動が始まっております。会員の方々へのご報告が遅れて申し訳ありません。

どうぞ今後ともよろしく願います。

1) 平成 27(2015)年度 事業活動

＜平成 27(2015)年 4 月 1 日～平成 28(2016)年 3 月 31 日＞

平成 27(2015)年度においては、マダガスカル共和国で皆様の会費と助成団体様による次の 3 事業を行いました。

- (1) 生活環境改善(井戸とトイレ建設)事業
(公益財団法人 日本国際協力財団様からの助成金による)
- (2) 中学校校舎建設事業
(一般財団法人 ひろしま祈りの石国際教育交流財団様からの助成金による)
- (3) 環境保全事業
(公益社団法人 国土緑化推進機構様からの助成金による)

(1)生活環境改善(井戸とトイレ建設)事業

井戸 1 基と共同トイレ 1 棟を建設しました。この事業は衛生状況の改善を図りつつ、村づくりの基礎を形成する事業として取り組みました。事業地はマダガスカル共和国アラトラ・マンゴロ地域アボヒダヴァ村です。



井戸 完成した井戸には名前を付けています。例えば、第 1 基の井戸は、J・Lalina (ジェイライナ)、ライナは協力団体の代表者の名前です。井戸が故障し

たときに責任をもって修理することになります。写真の井戸(第 7 基)には新田幸夫を名前を取って、J・sachio と名付けられました。

今年の 3 月に井戸ができたこの村の住民にインタビューをしました。この村の住民たちの声を紹介しましょう。下の写真の右側の女性は Vony さん、40 歳です。4 人の子供がいます。



流れている浮遊物を見ながら水をくむのだそうです。私は

私は、1 日に 10 回井戸にきます。井戸がないときは川の水を汲みに行きました。「川の水」と言っても「流れている川の水」です。うれしいです。きれいな水が飲める。こんな水を飲むのは初めてです。



その姿を想像したとき、一瞬ぞっとしました。次は、Evelise さん、36 歳です。子供は 6 人。



1 日に 5 回水汲みに来ます。井戸水は初めて、今までは遠い川まで時間をかけて汲みに行っていた。近い川より水がきれいだったから。井戸水は、健康にいいから安心。

次は、将来は牧師になりたいと話した Jean Ferlin 君。

トイレ(共同)

ボクは 14 歳。8 人家族です。ボクは 1 日 3 回、水汲みの手伝いをします。井戸水だから、食べ物をきれいにしておべられる。だから病気になる。下痢をしなくて済む。ありがとうございます。

今回は 1 棟建設しました。
合計 2 棟となりました。トイレ
の使用方法を村長に尋ねてみました。「大使用は使用後に灰を
入れることにした。使用料は 50 アリアリ (現地通貨: 約 2 円)。



強制ではない。出
せる人が出せばい
い。」と村長。

みなさんご存知ですか？国連トイレの日！

世界ではいまだ、3 人にひとりがトイレを使えない現実
があります。

トイレがない人たちは、バケツやビニール袋にうちを
したり、屋外で排泄をしたりしているのです。

うちには、病気を引き起こす細菌がたくさん含まれて
います。トイレがないところでは、細菌たちがさまざま
な所から体内に侵入。それらが原因で、免疫力の弱い子
どもたちは下痢を発症し 1 日に 800 人以上が、命を落と
しています。

そんなトイレにまつわる問題を、世界のみみんなで考え、
少しでも改善していくために。2013 年、国連は毎年 11
月 19 日を「世界トイレの日」(World Toilet Day) と定
めました。(worldtoiletday.jp より)

トイレ建設後、インタビューをしました。
女性 Saholy, 58 歳(写真下)。ある町の町長。



衛生的でいいです。
みんな健康になれま
す。トイレがなけれ
ばどこかほかのとこ
ろでしなければなら
ないの。感謝です。



ある村の保健所で働いている。
男性 Rakotovao 70 歳。

これまでは、人間がした便があち
こちに見えた。トイレができたか
ら道端に便を見なくなった。



妻と子供の 3 人家族。
Ramadimbijoa 35 歳。

村がきれいになりました。
ありがとうございました。



他の自治体から取
材に来ていた。(上
部、ビデオカメラ
を持つ人物)

村の住民は、当然知っ
ています。この世に電
気もあれば井戸もあ
り、トイレもあること

を。あればどれだけ便利で楽な生活ができるだろうかと、当
然長い間心待ちにしていました。彼らは大きな声を上げて電
気がほしい、井戸がほしい、トイレがほしいと叫んできたわ
けではないのです。でも、村の住民は「当然」だと言わない
のです。「当然」とは、私たちの言葉？

(2) 中学校校舎建設事業

少数民族の子どもたちのための中学校建設。事業地は
アラトラ・マンゴロ地域アンドラノメナ村です。

この村の大人たちが最も心配していることは、子供が教育
を受けることができるかどうかであります。そのために自分
たちは家族の生活改善を図るためのいろいろな努力をしてい
ますが、自分の力だけではどうしようもないこともあります。
それが教育です。



室内は十分な明るさを取らないと雨や曇りの日は勉強が出来
ません。壁の上部に光を取り入れる工夫がされています。



中学生の女子たちが、「学校ができてうれしい」と照れながら
話していました。だが、初めて会う日本人にはあまり多くを
語ろうとしませんでした。人見知りをするわけでもありませ
ん。小生が写真を撮ろうとすると、とても生き生きした表情
に変わりました。

今、新たに自立への道のりが始まりました。

現地の視察で、井戸とトイレを一巡すると、新しくできた中学校に向かいました。教室には100名を超える住民たちが集まっていました。年輩教師が、教壇に上がってチョークを取り出し、これまで井戸7件、トイレ2件等を作っていたと黒板に書き出しました。



「Foundation」を作ろう。お金を出せる人が出して、出せない人は出さなくてもいい。自分たちが必要なものに自由に使えるお金を集めよう。

この年輩の教師は教室に集まった住民に訴えました。「日本の方たちにここまでしてもらったんだ。あとは自分たちでしましょう!」「政府はあてにならん!!!」「自分たちでなければならぬ!!!」。小生は彼の話を聞きながら、住民たちが「力」「エネルギー」を自覚し始めたとすればどのように変わるのか興味を持ち始めました。住民たちは「うん…」と話を受け入れるような声を出し始めました。コミュニティの自立への道は経済的な自立と、自立に向けた精神的な共鳴音が必要になります。

(3) 環境保全事業

マダガスカルの高原地帯における土砂崩れの自然災害を防ぐための植樹による整備事業。事業地は、アナラマンガ地方のフィハオナナ村です。草原を整備しつつ、自生の樹木や果樹などを植樹し、土砂災害を防止し、森林の保全と再生につながることを目的とした植林事業を行いました。



フィハオナナ小学校で、植栽に参加した子供たちに植林の重要性について話す校長。シナモン(1000本)、アカシア(3,000本)、コーヒー(950本)を植樹しました。

<報告>

1. ラオスのサバナケートでの井戸建設

今春、アイユーゴーラオス代表(カッフア氏)から報告がありました。本会がサバナケート県のサイフウトン村に十数年前建設した井戸が故障してしまっ。住民たちは水不足で困っていた。だが、自分たちでなんとか村の近くに新たに井戸を建設した、と。実は、平成25年頃から井戸を作ってもらいたいとの依頼がありました。本会では日本で協力団体を探しました。しかし、なかなか決まりませんでした。カッフア氏は、本会に寄付を求めると同時に、ビエンチャン(首都)に住む友人や知人たちに村の窮状を訴え、協力を求めました。さらに、村で祭りがあるときにその村の住民たちからも寄付を集めました。そして、2016年5月に井戸を完成させました。カッフア氏は、残念ながら、その後6月に急逝しました。

パイプ井戸建設の全費用: \$6,500 (¥715,000)
*ポンプは1分につき25リットル。
*タンクは3個(2000リットル用)。これで、村の全住民の需要をカバーできるとのこと。



2. マダガスカルに初めて日本から日本語教材と日本語紹介の教本が贈られました。

- 本会の協力団体であるサクラNGO(代表 ラライナ氏)がアンタナリボ大学にJapanese Language Department(Nippon Studies)を設置しました。日本語学部長はアンビ教授(サクラNGO 会員)です。目的は日本語教育と日本文化を紹介することです。
- 関西外国専門学校の富永桂多理事長(学校法人天王寺学館)がマダガスカルでの日本語教育と文化交流の充実を願って日本語教材などを寄贈されました。



寄贈された教本、



学部長アンビ氏とラライナ氏(代表)



富永氏と表彰状(左下:記念品)

日本に関する書物が日本から寄贈されたのは初めてのこと。当学部は、富永氏(写真)に対し、即座に感謝の気持ちを表したいとして、感謝状と記念品を贈与されました。

2) 国内活動報告 総会・理事会

1. 社員総会

- 日時：平成27年5月31日 午後3時00分～4時50分
- 会場：公益財団法人 京都府国際センター
- 審議事項：決算報告その他に関して

2. 9月理事会

- 日時：平成27年9月20日(日) 午後2時～午後4時
- 会場：公益財団法人 京都府国際センター
- 議事内容：役員の任期その他に関して

3. 島根理事会(正式の理事会ではなく任意の理事の会合)

- 日程：平成27年11月14日・15日(マイカーツアー)
- 会場：島根県大田市 金子旅館
- 議事内容：次年度に向けた事業に関して

4. 12月理事会

- 日時：平成27年12月5日(土) 15:00～17:00
- 会場：公益財団法人 京都府国際センター
- 議事内容：1) 役員の任期について 2) 今年度の事業に関して 3) 次年度の事業に関して

5. 3月理事会

- 日時：平成28年3月20日(日) 午後3時から4時50分
- 会場：公益財団法人 京都府国際センター
- 議事内容：1) 2016年度事業計画 2) 役員改選に関して

3) 平成27(2015)年度 収支決算報告

2015年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書			
特定非営利活動法人 アイユゴー			
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで (単位:円)			
科目	金額(単位:円)		備考
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員	385,000		
賛助会員	28,000		
賛助法人	0	413,000	
2 基金・寄付金収入			
一般寄付	615,710	615,710	
3 自主事業収入			
	0	0	
4 助成金収入			
日本国際協力財団	1,500,000		
ひろしま祈りの石	1,181,000		
国土緑化推進機構	1,120,000	3,801,000	
5 雑収入			
	0	0	
経常収入合計			4,829,710
II 支出の部			
1 事業費			
資機材費	3,494,316		
資材運搬費	161,268		
現地移動費	132,392		
現地事業運営費	83,885		
スタッフ派遣経費	502,920		
専門家費用	272,189		
現地管理費	5,000	4,651,970	
2 管理費			
租税公課	1,800		
旅費交通費	100,720		
宿泊費	17,053		
会議費	26,494		
通信費	21,507		
事務費	28,860		
雑費	9,600	206,034	
経常支出合計			4,858,004
経常収支差額			-28,294
III その他資金収入の部			
1 受取利息			
普通預金利息	59	59	
2 その他の事業会計から繰入			
その他資金収入合計		0	59
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			-28,235
前期繰越収支差額			-522,335
次期繰越収支差額			-550,570

4) 平成28(2016)年度 事業計画

＜平成28(2016)年4月1日～平成29(2017)年3月31日＞
平成28(2016)年度においては、主に以下の事業を行います。

(1) 図書館建設事業

- 事業名：孤立する少数民族の子どもたちの教育促進のための図書館建設
- 助成団体：一般財団法人 ひろしま祈りの石国際教育交流財団様からの助成金による
- 事業地：ベトナム社会主義国 Quang Nam 省 Nam Tra 地区。ベトナムの最貧地区の一つ。

(2) 国際社会におけるリーダー育成事業

- 事業名：医療・福祉の日本・ベトナム合同セミナー
- 助成団体：公益財団法人 三菱UFJ国際財団様からの助成金による
- 事業目的：医療・福祉関係の両国の学生が交流を通して、グローバルリーダーとして、ミッションを持って、社会に貢献する意識を高めること。
- 事業地：ベトナム、ホーチミン市。ホーチミン大学、チョウライ病院など市内の大病院。

(3) 環境保全事業

- 事業名：マダガスカル北部の山岳地帯の土砂流失防止のための植林による整備事業
- 助成団体：公益財団法人 国土緑化推進機構様からの助

成金による

- ・事業地：マダガスカル、アンボヒダヴァ村(village)の 3 つの集落 Andranomena, Andranongorona, Ambohimasina で草原を整備して、自生種の樹木を植樹し、土砂災害を防ぎ、森林の再生と保全に貢献する植林事業を行うこと。

(4) 途上国の経済的自立に必要な事業 (申請準備中)

- ・事業名：マダガスカルにおけるシナモンの企業化
- ・事業内容：山岳地帯の住民の自立支援活動のひとつで、フィハオナナの村人たちと植栽したシナモンの葉から油脂を抽出し、アンタナナリボ(首都)でそれを商品化する。
- ・事業地：原材料を提供するフィハオナナとそれを製品化するアンタナナリボの 2 か所に分かれる。

(5) 自然環境の再生を図る事業 (申請準備中)

- ・事業名：マダガスカルの野鳥の保全と自然の再生
- ・事業内容：
 - ①マダガスカルの自然保護活動を世界に紹介することによりグローバルな活動にすること。
 - ②子供たちが野鳥の生態を理解することにより自然

保護への意識を高めること (鳥類学を広める)。

- ③野鳥を中心としたマダガスカルの生態系を保護すること (植樹をする)。

・事業地：マダガスカル・アンタナナリボ市

5) 後記

わたしたちは、協力を必要とする人たちの自立を目指した開発援助を行っています。困った人たちがいれば、その人たちのそばに行ってみませんか、そして、何かできることがあれば、一緒にしてみませんか。皆様のご参加・ご協力を心からお待ちしております。

現地のプロジェクトの費用が不足しています。ご寄付をお願いいたします。どうか、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

e-mail : snittaskmj0715@yahoo.co.jp HP : 現在改定中

振込先：特定非営利活動法人アイユーゴー 理事長 新田幸夫

・三井住友銀行 阿倍野支店 : 7,479,470

・ゆうちょ銀行 : 00930-9-144252

編集長：岩見和孝 発行者：新田幸夫 印刷：(株)フジカク